

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-59977

(43)公開日 平成6年(1994)8月19日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 7 F 11/54

識別記号

庁内整理番号

9028-3E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 3 頁)

(21)出願番号 実願平5-4008

(22)出願日 平成5年(1993)1月18日

(71)出願人 591014282

今野産業株式会社

東京都墨田区横川2丁目19番8号

(71)出願人 593028746

高塚 励

東京都墨田区東向島4丁目25番21-1003号

(72)考案者 今野 明久

東京都墨田区横川2丁目19番8号

(72)考案者 高塚 励

東京都墨田区東向島4丁目25番21-1003号

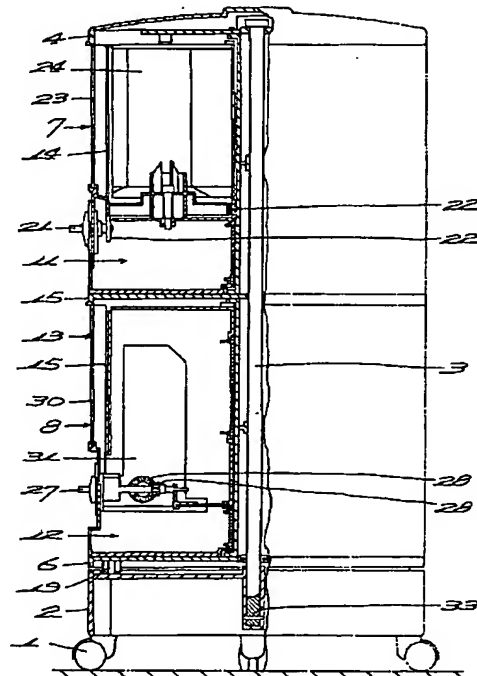
(74)代理人 弁理士 杉山 泰三

(54)【考案の名称】 商品自動販売機

(57)【要約】

【目的】 少ないスペースで多種類の商品を販売することを可能にする。

【構成】 台盤2と、台盤2の上面に立設した支柱3と、台盤2の上に支柱3を中心として回転する状態で設けた、複数階に分かれ且つ各階が複数個のブース11、12に分かれた縦型回転塔13と、各ブース11、12に片側に設けた支軸16を中心に回し出し可能として且つ平時にはキーロック17、18で回し出し不能となして個別に装填した、単独で自動販売機能を果すタイプの商品自動販売機本体14、15とを備えたものである。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 台盤2と、台盤2の上面に立設した支柱3と、台盤2の上に支柱3を中心として回転する状態で設けた、複数階に分かれ且つ各階が複数個のブース1

1、12に分かれた縦型回転塔13と、各ブース11、12に片側に設けた支軸16を中心に回し出し可能として且つ平時にはキーロック17、18で回し出し不能となして個別に装填した、単独で自動販売機能を果たすタイプの商品自動販売機本体14、15とを備えたことを特徴とする商品自動販売機。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の実施例を示す全体の正面図である。

【図2】 同じく一部切截側面図である。

【図3】 同じく一部切截平面図である。

【図4】 図1 A-A線に沿う断面図である。

【符号の説明】

- 1 キャスタ
- 2 台盤
- 3 支柱
- 4 屋根板部材
- 5 二階フロア部材
- 6 一階フロア部材
- 7 上側空間
- 8 下側空間

2

9 仕切壁

10 仕切壁

11 ブース

12 ブース

13 回転塔

14 商品自動販売機本体

15 商品自動販売機本体

16 支軸

17 キーロック

10 18 キーロック

19 コロ

20 コイン投入口

21 操作ツマミ

22 ギヤ

23 表示板

24 格納庫

25 商品提供口

26 コイン投入口

27 操作ツマミ

20 28 ギヤ

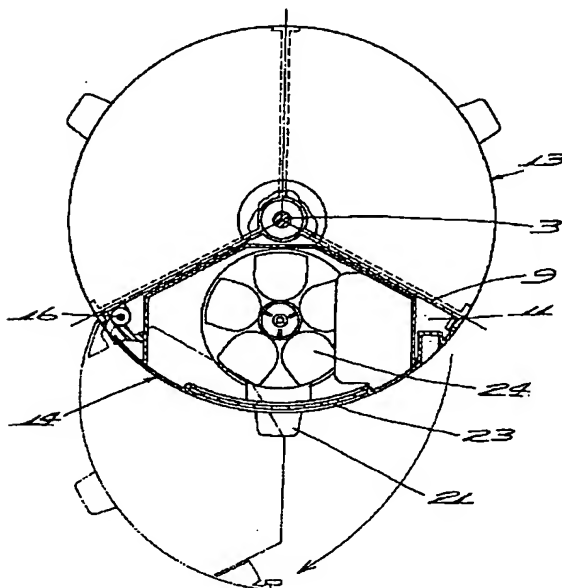
30 表示板

31 格納庫

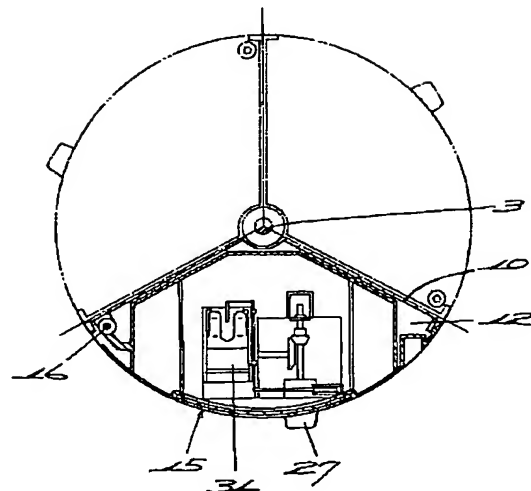
32 商品提供口

33 ピン

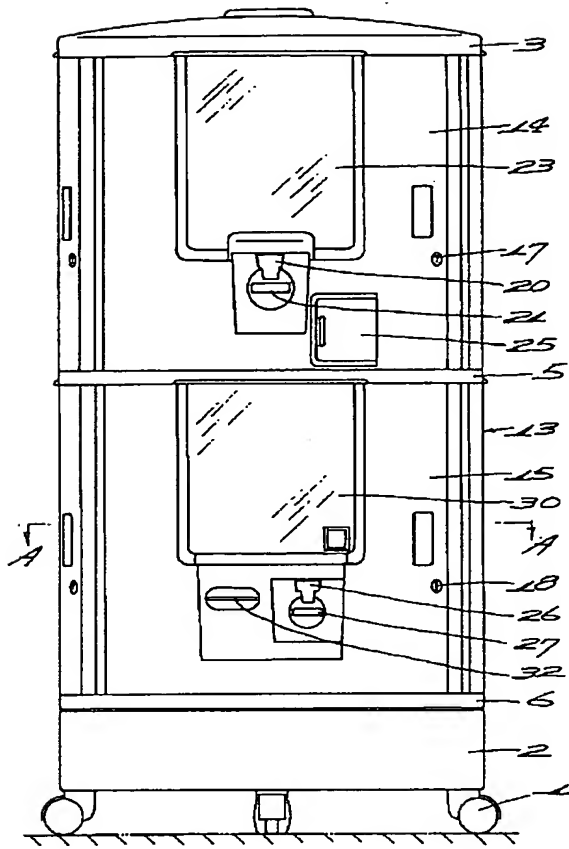
【図3】



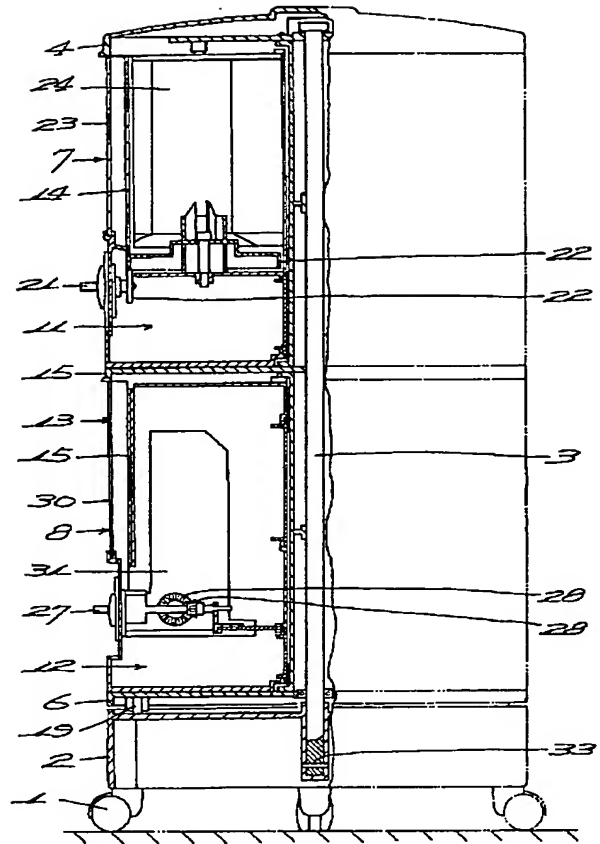
【図4】



【図1】



【図2】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、カプセル入りおもちゃ商品、カードおもちゃ商品を一個所で販売することを可能とする商品自動販売機に関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来、カプセル入りおもちゃ商品やカードおもちゃ商品の自動販売機は、店頭においてよく見掛けするように、1種類のおもちゃを提供するタイプであって、多数種を提供する場合には広いスペースが必要であった。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

本考案は、少ないスペースで多種類の商品を販売することを可能にする新規の商品自動販売機を提供することを目的とする。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

上記目的を達成するために本考案に係わる商品自動販売機は、台盤2と、台盤2の上面に立設した支柱3と、台盤2の上に支柱3を中心として回転する状態で設けた、複数階に分かれ且つ各階が複数個のブース11、12に分かれた縦型回転塔13と、各ブース11、12に片側に設けた支軸16を中心に回し出し可能として且つ平時にはキーロック17、18で回し出し不能となして個別に装填した、単独で自動販売機能を果すタイプの商品自動販売機本体14、15とを備えたものである。

【0005】**【作用】**

本考案は上記のような構成であるので、購買客は回転塔13を自分で回して所望の商品の入っているブース11、12を選択し、この選択したブースにあるコイン投入口20または26に所定のコインを入れることによって、所望する商品を商品提供口25または32から得ることができ、また販売者はキーロック17

、18を適宜に外して商品の補充や集金、修理を行うことができる。

【0006】

【考案の効果】

本考案に係わる商品自動販売機は、台盤2と、台盤2の上面に立設した支柱3と、台盤2の上に支柱3を中心として回転する状態で設けた、複数階に分かれ且つ各階が複数個のブース11、12に分かれた縦型回転塔13と、各ブース11、12に片側に設けた支軸16を中心に回し出し可能として且つ平時にはキーロック17、18で回し出し不能となして個別に装填した、単独で自動販売機能を実現するタイプの商品自動販売機本体14、15とを備えたことを特徴とするので、一台で最大数、ブース11、12の数と同じ種類数までの商品を提供することが可能であり、少ないスペースにおいて多種類の商品を販売するのには極めて好都合である。

【0007】

【実施例】

図に示す実施例は、複数個の着地用キャスタ1を下面に備えた台盤2を構成し、この台盤2の上面中央に支柱3をピン33により回転不能および取去不能として立設すると共に当該支柱3の上端に屋根板部材4を、同じく中間高さ個所に円板状の二階フロア部材5を、同じく下端寄りの個所に円板状の一階フロア部材6をそれぞれ同支柱3を中心に回転自在として且つ取去不能として設け且つ屋根板部材4と二階フロア部材5の間の上側空間7および二階フロア部材5と一階フロア部材6の間の下側空間8を各々仕切壁9、10により分割して、二階フロアおよび一階フロアを各3個（合計6個）のブース11、12をもつ円形縦型回転塔13を形成し、各ブース11、12には次に説明するような単独で自動販売機能を実現するタイプのカプセル入りおもちゃ商品自動販売機本体14、同タイプのカードおもちゃ商品自動販売機本体15を、片側に設けた支軸16を中心に回し出し可能として且つ平時にはキーロック17、18で回し出し不能となして個別に装填したものであり、一階フロア部材6の下面に台盤2の上面を転るコロ19を設けたものである。

【0008】

上記カプセル入りおもちゃ商品自動販売機本体14は、コイン投入口20にコインを入れてから操作ツマミ21を廻したときに、ギヤ22等を介して、表示板23の内側に設けられた格納庫24から一個のカプセル入りおもちゃ商品（図示せず）が商品提供口25へ出てくるようになっているものであり、商品の補充およびコインの回収は店の人がキーロック17の解錠を行ってなすものである。

【0009】

上記カードおもちゃ商品自動販売機本体15は、コイン投入口26にコインを入れてから操作ツマミ27を廻したときに、ギヤ28等を介して、表示板30の内側に設けられた格納庫31から一枚のカードおもちゃ商品（図示せず）が商品提供口32へ出てくるようになっているものであり、商品の補充およびコインの回収は店の人がキーロック18の解錠を行ってなすものである。